

第 14 回 ハンセン病の医療充実に向けた講習会 開催のお知らせ

石井則久（国立療養所多磨全生園）

ハンセン病は新規患者が年間 3 名程度で、ほとんどの皮膚科医は患者を診察する機会がありません。そのため、新患が受診した場合、診断するまでに長時間を要する場合があります。

一方、社会で生活しているハンセン病既往歴のある方々（ハンセン病回復者：療養所を退所した人、入所歴のない人）は約 1,900 人いると考えられます。これらの人々の多くはプロミンや DDS などのスルホン剤の単剤治療が多く、高齢に近づきつつあることから、ハンセン病の再発の心配があります。

今回、皮疹の所見と皮膚スミア検査、末梢神経の検査、さらに必要な場合には皮膚病理検査可能な皮膚科医を養成したいと考えています。また、ハンセン病回復者が、皮膚科を窓口として、病院でのスムーズな診療が受けられるようにしたいと考えています。すでに東京(3 回)、名古屋(3 回)、大阪(3 回)、福岡(2 回)、札幌 (1 回)、沖縄(1 回)で開催し、343 名の皮膚科医が日常診療でハンセン病を鑑別することが可能になりました。

今年度は東京で別紙のように講習会を開催します。ハンセン病の医学面のみならず社会面も理解していただくため、ハンセン病既往歴のある方々にも参加していただく予定です。この機会に、講習会に参加していただき、今後の診療に役立てて頂きたいと念願しています。

講習会参加希望の先生は、参加申込書に必要事項を記載し、メールまたは FAX で送付ください（9 月 20 日締切）。

第 14 回 ハンセン病の医療充実に向けた講習会

石井則久（国立療養所多磨全生園）

日 時：2019 年（令和元年）10 月 6 日（日曜日）
10:00－16:30（9:20 開場）

場 所：公益社団法人 日本皮膚科学会 5 階会議室
（〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-4）

参加者：皮膚科医及びハンセン病に関心のある医師等（参加定員：約 30 名）

主 催：・公益社団法人日本皮膚科学会
・国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）委託費「ハンセン病等の予防・診断・治療法の開発に向けた研究事業」鈴木分担研究

内 容：10:00－11:10 講義 ハンセン病外来診療の現実と問題点（長崎大学 四津里英）
11:20－12:10 講義 らい菌感染の基礎とトピック（帝京大学 鈴木 幸一）
12:10－13:00 昼食
13:00－14:00 講義 ハンセン病回復者が皮膚科医に望むこと
14:00－14:40 講義 初めてハンセン病の患者/疑い患者診察時の心得（琉球大学 山口さやか）
14:40－15:00 講義 皮膚スメア検査の方法（多磨全生園 石井則久）
15:00－16:30 実習 皮膚スメアの実習、末梢神経の検査の方法、病理組織の検鏡（石井、鈴木、四津、山口、三上 万理子）

（すべての内容は 16:30 までには終了します）

講習会に出席される場合はメールまたは FAX にてお知らせ下さい。参加費は不要です。交通費等は参加者ご本人がご負担下さい。昼食・飲み物は各自でご用意下さい（建物内には自動販売機の設置はございません）。

講習会参加者には 「ハンセン病アトラス」（金原出版）、スメア検査用スライドグラス等を配布予定です。

代表・問い合わせ先：^{いしいのりひさ}石井則久

Tel:042-395-1101 E-mail: norishii@niid.go.jp

国立療養所多磨全生園（たまぜんしょうえん）

〒189-8550 東村山市青葉町 4-1-1

会場案内図



アクセス：東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅
都営大江戸線「本郷三丁目」駅 各駅から徒歩3分

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4
公益社団法人 日本皮膚科学会 5階会議室

※ 会場には駐車場はありませんので、車で来られた方は有料駐車場をご利用下さい。